	ᆂᅰ	F ◯ I I I I I I V	│ 開講年度 平成30年度 (2	2018年度)	授業科目	呆健体育					
科目基礎	福井工業高等専門学校 開講年度 平成30年度 (2018年度) 授業科目 保健体育 科目基礎情報										
科目番号		0100		科目区分	一般 / 必修						
授業形態		実技		単位の種別と単位							
開設学科		物質工学	科	対象学年	3						
開設期		通年		週時間数	2						
教科書/教	材		アップ・高校スポーツ2016(大修館書	『店), 新保健体育	育(大修館書店)						
担当教員		松井 一洋	<u>: </u>								
到達目標				- "							
(1)身位 定・解決 ⁻	本・健康・伯 プロヤスをは	体力・運動に 提案・実行す	関する課題の理解から,個人あるいは ることができる.	グループにおける	問題や課題を発見し	,, それぞれの能力に応じた目標設					
ルーブリ		<u> </u>	<u> </u>								
, ,	-		理想的な到達レベルの目安標準的な到達レイルの目安に		 ベルの目安	未到達レベルの目安					
評価項目1			欠席、遅刻、早退、見学がほとん どなく、忘れ物もなく、安全かつ 主体的に授業に取り組むことがで きる.	欠席、遅刻、早過	艮、見学が少なく く、安全かつ積極	欠席、遅刻、早退、見学が多く、 または忘れ物が多い。もしくは、 安全かつ積極的に授業に取り組む ことができない.					
評価項目2	2		効率的技術を有している、または 効果的プレーができるほか、自己 やチームの課題に対して適切な取 り組みや工夫ができる.	基本技術が身にては基本的なプレー 自己やチームの記 な取り組みができ	-ができるほか、 果題に対して適切	基本技術が身についていない、または基本的なプレーができない ・もしくは、自己やチームの課題 に対して適切な取り組みができない。					
評価項目3	3		自己の体格・体力データを横断的 、縦断的に分析し、かつ多角的に 考察できるとともに、健康管理や 体格・体力の改善を図るための具 体的な計画を論理的に記述するこ とができる.	に分析・考察でき 康管理や体格・体	本的に、かつわか	自己の体格・体力データを客観的に分析することができない。もしくは健康管理や体格・体力の改善を図るための計画を具体的に、かつわかりやすく記述することができない。					
学科の至	 別達目標I	頁目との関	 係								
学習・教育	育到達度目標	票 RE1 学習 ·	・教育到達度目標 RE2 学習・教育到達	度目標 RE3							
教育方法	5等	1									
体育実技による身体運動の実践やスポーツテストを通して、身体運動文化に対する科学的理解・安全管理・態で学習するとともに、保健の講義によって得た知識を駆使して、身体・健康・身体運動の相互の関連性についた社会的観点から理解を深める。											
授業の進め	か方・方法	評価方法	(走・跳・投・水泳)の実施及びこれを学習する、これらに関する講義およ	び運動実施上の安全	全管理については <u>,</u>	実技授業時に適宜加えていく.					
注意点			のうち,外で行われる種目は天候など は使用場所が他クラスと重なった場合			文史でさるを侍ない場合がある。 					
授業計画	<u> </u>	\ _{\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\}			\H-7' . ~ \\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\						
			授業内容 オリエンテーション シラバスの説明と運動実践上の安全管		週ごとの到達目標 シラバスの内容および体育授業における安全管理につ て理解できる.						
		2個	体力測定		体力テストの測定方法および実施目的について理解できる.						
		+	文部科学省体力テストの測定方法につ								
		3旭	体力測定 体力デスト		グループワークと 。また、測定項目(して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる.					
		3週	—————————————————————————————————————		グループワークと 。また、測定項目の グループワークと 。また、測定項目の	して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。					
	1stQ	4週	体力測定 体力デスト 体力測定 体力デスト 体力測定 体力デスト		グループワークと。また、測定項目のグループワークと。また、測定項目のではでいまた、測定項目のグループワークと。また、測定項目のでは、対ループワークといまた、測定項目の	して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。					
	1stQ	3週 4週 5週 6週	体力測定 体力デスト 体力測定 体力テスト 体力測定 体力テスト 走運動 陸上競技(走幅跳)		グループワークと。また、測定項目のグループワークと。また、測定項目のがよりである。また、測定項目のでは、また、測定項目のまた、測定項目の表にできる。また、測定項目の表にできる。	して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 レールを理解し、協力してバトンパ					
	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週	体力測定 体力デスト 体力測定 体力デスト 体力アスト 本力デスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 走運動 陸上競技(走幅跳)		プループワークと。また、測定項目でグループワークと。また、測定項目でグループワークと。また、測定可目である。また、測定可目ではある。また、測定ではある。まに、の練習ができる。 た幅跳の課題についまた。	して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる の運動要素について理解できる。					
前期	1stQ	3.週 4.週 5.週 6.週 7.週 8.週	体力測定 体力デスト 体力測定 体力テスト 体力測定 体力テスト 走運動 陸上競技 (走幅跳) 走運動		グループワークと。また、測定項目でグループワークと。また、測定項目でグループワークと。また、測定項目でがまた、測定項目では、また、測定項目では、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 ルールを理解し、協力してバトンパ					
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週 8週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力デスト 体力デスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 走運動 陸上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツデスト結果記入および健康・	体力についての	プループワークと。また、測定 クループ 別で クループ 別で クリーク (4) できた、 別定 クリー できた、 別定 クリー できた、 別定 技 上の できた、 別で は かっぱ できた	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 していて理解できる。 していて理解できる。 して決選ができる。 では、関方してができる。 のための方策を練習ペアまたは練習い、協力して練習するとともに、互					
前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力デスト 体力デスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 陸上競技(走幅跳) 陸上競技(走幅跳) 体スポーツデスト結果記入および健康・ スポーツデスト結果記入および健康・ 講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス	体力についての	プループワークと のまた、別定 ク項 と がループ、測ワーク項 と がループ、別ワーク項 と がループ、別ワーク項 と でまた、の競技上きる。 大の線跳のはにあった。 大幅跳のはにあった。 自己の体格・体力に を相跳ので話し合い。	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 していて理解できる。 していて理解できる。 しては習べアまたは練習グループで て課題克服のための練習ができる。 データを整理できる。 のための方策を練習ペアまたは練習い、協力して練習するとともに、互 きる。					
前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力デスト 体力測定 体力テスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 走運動 陸上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツテスト結果記入および健康・ 講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス 水泳の特性について (VTRによる泳 レーニング)	体力についての	プループリークを のまた、別定の がループ、別定の がループ、別定の がループ、別定の がループ、別定の では、できる。 を「はいい、はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 を「はいい。」 はいい。 はいいい。 はいいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいいい。 はいい。 はいい。 はいいい。 はいいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいいいい。 はいいい。 はいいいい。 はいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいいい。 はいいいいいい。 はいいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいい。 はいいいい。 はいいいい。 はいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいい。 はいいいいいい。 はいいいいいいいい。 はいいいいいいいいいい	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 していて理解できる。 していて理解できる。 しては習べアまたは練習グループで て課題克服のための練習ができる。 データを整理できる。 のための方策を練習ペアまたは練習い、協力して練習するとともに、互 きる。					
前期	1stQ 2ndQ	3個 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力測定 体力デスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 陸上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツテスト結果記入および健康・ 講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス 水泳の特性について (VTRによる泳 レーニング) 水泳 基本泳法1(背泳ぎ) 適宜VTR ームをチェック 水泳	体力についての 法のイメージト 最影により泳フォ	プリークとで、 のまた、別定回りとで、また、別定回りとでは、 グループ、別定回りででは、 グループ、別定回りででは、 がよって、別定では、 では、の競技ときる、 走幅跳のが、は、 走幅跳ののでは、 自己の体格・体力: をはいいには、 をはいいには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	して正確に体力テストを実施できる。 の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 の運動要素について理解できる。 レールを理解し、協力してバトンパ いて練習ペアまたは練習グループで で課題克服のための練習ができる。 データを整理できる。 のための方策を練習ペアまたは練習い、協力して練習するとともに、互 きる。					
前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力デスト 体力別定 体力テスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 陸上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツテスト結果記入および健康・ 講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス 水泳ガイダンス 水泳がの特性について (VTRによる泳 レーニング) 水泳をチェック 水泳をチェック 水泳	体力についての 法のイメージト 最影により泳フォ 最影により泳フォ	グループ・フーク とでである。 が、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。レールを理解し、協力してバトンパいて練習ペアまたは練習グループでで課題克服のための練習ができる。 アクを整理できる。 アための方策を練習ペアまたは練習い、協力して練習するとともに、互きる。					
前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	体力測定 体力テスト 体力テスト 体力デスト 体力測定 体力テスト 走運動 陸上競技(走幅跳) を上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツテスト結果記入および健康・講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス 水泳の特性について (VTRによる泳レーニング) 水泳 基本が法1(背泳ぎ) 適宜VTR ームシをチェック 水泳 基本をチェック 水泳	体力についての 法のイメージト 最影により泳フォ 最影により泳フォ	プルーナークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリー	して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。して正確に体力テストを実施できるの運動要素について理解できる。している理解し、協力してバトンパいて練習ペアまたは練習ができる。これではいるではいる。これではいるでは、質されて、協力して練習するとともに、互い、協力して練習するとともに、互い、協力して練習するとともに、互い、はなりとキックをペアで確認し合い、練りとキックをペアで確認し合い、練習とキックをペアで確認し合い、練習とキックのコンビネーションと息継とキックのコンビネーションと息継					
前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	体力測定 体力デスト 体力デスト 体力デスト 体力測定 体力デスト 走運動 陸上競技(走幅跳) 陸上競技(走幅跳) 体力測定講義 スポーツデスト結果記入および健康・ 講義 走運動 陸上競技(走幅跳) まとめ 水泳ガイダンス 水シの特性について (VTRによる泳 レーニング) 水泳 基本泳法1 (背泳ぎ) 適宜 V T R 打 ームをチェック 水泳 基本泳法1 (背泳ぎ) 適宜 V T R 打 ームをチェック 水泳	体力についての 法のイメージト 最影により泳フォ 最影により泳フォ	プルーナークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリー	して正確に体力テストを実施できる。 の運動要素について理解できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 して正確に体力テストを実施できる。 しては難要素について理解できる。 してが、協力してがトンが、 いて練習ペアまたは練習グループででは、 では、では、できる。 のための方策を練習ペアまたは練習ができる。 のための方策を練習ペアまたは練習ができる。 のための方策を練習ペアまたは練習ができる。 のための方策を練習ペアまたは練習するとともに、 して、協力して練習するとともに、 して、ない、はないで確認し合い、練習できる。 して、はないでででではいるに、、 ない、はないでででではいる。 して、はないででではいる。 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないでは、 して、はないではないではないではない。 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、					

10 (株力ルボート・皮膚達する健康・化力の発電			16週		 ・体力の講			自己の体格・体力データを約	 総合的に分析・	考察できる	
18世 2月4分人の金融を任う人で、			10週					・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		- ルを対しで	
2月 選輯技術の選問		3rdQ	1週)と持久走	互いに練習できる.全身持久力向上の健康上の意義 理解できる.			
3歳			2週					チームで練習できる。全身排	き久力向上のだ	「対人または こめの走ペー 	
1			3週	球技 基礎!	(アルティ 支術の習得	メット・ソフトボール (VTR学習による基	ソフトボール)と持久走 グが対人またはチームで協力 学習による基礎技術の習得) 久力向上のためのジョギング			」して練習できる. 全身持	
20回 政策が広の習信			4週	球技ルール	(アルティ レの理解(V	メット・ソフトボール (TRによるゲーム分析))と持久走				
6担			5週						いて理解し、チームで協		
			6週)		ついて理解し、	チームで協	
接接(アルティメット・ソフトボール)			7週				ット・ソフトハールル 協力して練習できる.また、		チームで課題を抽出し課		
日日の健康管理や体格・休力の語素を図るための計画 を見ま物に記述するとかできる。	15/1		8週			メット・ソフトボール)	ソフトボールのゲームを行い	い、試合後にチ		
10回 基礎技術の習得	4		9週	健康	・体力の講	自己の健康管理や体格・体		ー りの改善を図るための計画 できる。			
### ### ### ### ### ### ### ##		4thQ	10週	球技基礎	バスケッ 支術の習得	 y トボール・バドミントン) 导		バドミントンのストロークの重要なポイントを理解し			
### 4th Q			11週					バドミントンのルールを理解し、ダブルスペアで協力			
13週 紫衣 (ハスタットボール・ハトミントン)			12週				-ボール・バドミントン) バドミントンのゲーム戦略		こついて理解し、ダブルス		
14週			13週			ント戦)					
15週 16週 総合学習 地域スポーツ、健康スポーツについて社会的、健康上の意義について理解できる。			14週					で振り返り、次のゲームに反省点を活かすことができ			
16個 1年間のまとめ の意義について理解できる。			15週								
分類 学習内容 学習内容の到達目標 あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集がで きる 特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析の ために効果的な図や表を用いるごとができる。 事実をもとに論理や考察を展開できる。 者論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現でき る。 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。 自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。 自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。 日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。 日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。 ・チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 リーダーがとるべきで対か役割を把握した行動ができる。 リーダーがとるべきで対かできる。 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている 自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 第7年の相談が必要であることを知っている 自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 会計 会計 第7年の相談が必要であることを知っている 自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 会計 会計 第7日の報告 との 会計 会計 第7日の報告 会計 会計 会計 第7日の報告 との 会計 会計 第7日の報告 との 会計 会計		1	16週	総合 ³ 1年間	学習 引のまとめ_		地域スポーツ、健康スポー の意義について理解できる		ソについて社会	会的、健康上	
次用的技能		アカリキ		の学習					I	1	
次用的技能 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能 表示	分類		分野		学習内容					授業週	
汎用的技能		汎用的技			態度・志向	きる	きる		3		
括論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。 3 3 3 3 3 3 3 3 3			b能 汎用的技能	的技能		能ために効果的な図り	ために効果的な図や表を用いることができる。		3		
あっぱ											
おいけ						る。	る。		3		
分野横断的能力 態度・志向性(人間力) 態度・志向性性							వ .		3		
か野横断的 能力	分野横断的										
能度・志向性(人間力) 態度・志向性						○ ○ ○	。		3		
態度・志向性(人間力) 態度・志向性(人間力) 態度・志向性(人間力) 態度・志向性(人間力) 態度・志向性性 指数 1 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 3 チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。 3 1 リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。 3 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 3 1 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100	能力										
性(人間力) 性 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 3 チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。 3 リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。 3 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 3 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100		能度,其	· 向 能度	態度・志向 性		者の意見を尊重する	者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ		3		
リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。 3 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 3 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100		性(人間力	为) 性						3		
適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 3 リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト(水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100						チームのメンバーと	チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。		3		
リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト(水泳) レポート 実技 取り組み 合計 20 40 20 100						リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。					
での相談が必要であることを知っている 自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 3 評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100											
評価割合 テスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 20 40 20 100						ワーターシッフを教 での相談が必要であ	リーターンツノを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 での相談が必要であることを知っている		3		
デスト (水泳) レポート 実技 取り組み 合計 総合評価割合 20 40 20 100						自身の将来のありた	こい姿(キャリアラ	デザイン)を明確化できる。	3		
総合評価割合 20 20 40 20 100	評価割合			(=L)> \	I.	. .	±++	Fn 10 40 7	_=I		
							1				